



アロンオール®

超高機能保護被覆工法 | アクリルゴム・外壁化粧防水

㊦ JIS A 6021 建築用塗膜防水材料 外壁用 アクリルゴム系 JPIA JP0409001

2017年11月版



日本の壁を、強く、キレイに。

東亜合成株式会社

アロンウオール®は建物の長寿命化

きびしい自然環境にさらされる

日本の建造物。

アロンウオール®は、

4つのコンセプトで建物の外壁を

長期間にわたって保護する

環境に配慮した工法です。

新築からリニューアルまで、
幅広いニーズにお応えします。



建物
保護

過酷な自然環境から
建物を長期保護します。

施工前



美観
維持

アロンウオール®は、施
ひび割れが全く発

いつまでも美しい
外観を維持します。

と環境に配慮した工法です。

環境に配慮した
工法を提案します。

環境
配慮

施工後



工後15年経過しても
生していません。

CP
コスト
パフォーマンス

ハイパフォーマンスで
トータルコストを
低減できます。

INDEX

建物保護	P03
美観維持	P05
環境配慮	P07
コストパフォーマンス	P09
施工事例	P11
アロンウオール塗膜の特性	P15
各種工法とトップコート適性	P16
アロンウオール標準工程フロー	P17
標準仕様一覧表	P19
アロンACC工法	P22
アロンACC工法・剥落防止工法	P23
剥落防止工法フロー	P24
施工品質管理体制	P25
アロンウオール施工標準例	P26
テクニカルデータ	P27
アロンウオール工法使用材料	P29

過酷な自然環境から建物を長期保



護します。



漏水と鉄筋腐食を防止します。

アクリルゴムの優れた柔軟性により、外壁にコンクリートの乾燥収縮に伴うひび割れが生じた場合でも、塗膜は破断し難く、雨水の浸入を長期間シャットアウトします。これにより、鉄筋の腐食やアルカリ骨材反応によるコンクリートの膨張ひび割れを防ぎます。



湘南高浜台ハイツ (神奈川県)

コンクリートの劣化を防止します。

1mm厚のアロンウオール塗膜は、コンクリートのかぶり約5mに相当します。アロンウオールは、優れた気密性により、炭酸ガスを遮断し、コンクリートの中性を防止します。更に、改修工事によりアルカリ(中性化)復元効果などの優れた性能を発揮します。



九州電力 川内原子力発電所 (鹿児島県)

ALC外壁の劣化を防止します。

アロンウオールは、炭酸ガス、水分、塩化物イオンの浸入を防ぐので、炭酸化、塩害、凍害などによるALCパネルの劣化を防止します。また、ALCパネルのみならず目地を含めた連続被覆により、目地のシーリング材を保護し、防水性と共に耐久性も向上させます。



紋別暴露試験場 (紋別市)

塩害や凍害も防止します。

外部からの塩化物イオンや酸素・水分の浸透を防止し、RC構造物の塩害による早期劣化を防ぎます。また、防水性とコンクリート内部の水分を外部に放出する呼吸性を併せ持っているため、躯体を常に乾燥状態に保ち、凍害防止にも優れた性能を発揮します。



塩害対策暴露センター (沖縄県)

外壁仕上げモルタルなどの剥落を防止します。

アロンウオールは、長期の柔軟性と躯体保護機能により、外壁仕上げモルタルなどの剥離・剥落を防止し、地震などの災害時にも、被害を軽度抑えることができます。

阪神・淡路大震災時においても被害軽減を実証

アロンウオールは、長期柔軟性と躯体保護機能により、大地震の際にも、下地を含む仕上材の剥落など被害を軽度に抑えていることがわかりました。



アロンウオール塗布外壁の状況



一般的な外壁の状況

優れた耐久性で美しい外観を長期



間維持します。



ひび割れを目立たなく、しかも再発を防ぐ補修方法です。

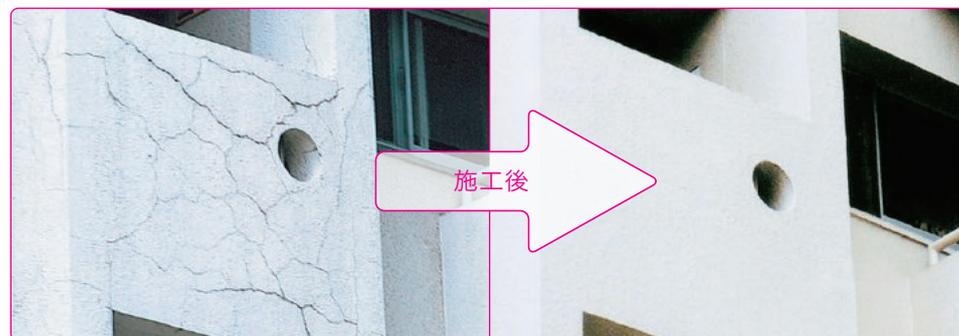
ひび割れ部の処理に下地挙動緩衝材「アロンウオールSH」を塗布し、アロンウオール®を施工することにより、「長期にわたるひび割れの再発防止」や「ひび割れ部」を目立たなくすることができます。

従来のUカット+シーリング材充填は、施工時に騒音や塵埃を発生させ、ひび割れ処理跡が残るばかりでなく、経年によって更に目立つことがあります。

[アロンウオールSHによる補修]

施工前

アロンウオール®施工後15年経過



[従来工法による補修]

施工後の数年経過



雨で汚れを洗い流す「低汚染仕様」も可能です。

耐久性に優れた特殊ハイドロセラミック成分によるトップコート表面の親水化技術で、塗膜に付着した汚れを雨で徐々に洗い流します。アロンウオールの優れた柔軟性に、汚れが付着し難いこの「低汚染仕上仕様」を加えて、建物の美しさを長期間維持させることに成功しました。

◎充実した低汚染仕上塗料(トップコート)のラインアップ

水系 アロンHSカラーSi-1000
アロン水性スーパーカラーSi

弱溶剤系 アロンHSカラーSi-3000
アロンMDカラーU
アロンMDカラーSi

溶剤系 アロンウオールフッ素FC(DX)カラー

※塗装作業環境条件や耐久性から選定できます。

◎低汚染仕上塗料(トップコート)の比較(例)

汚染性(屋外暴露1年、暴露地:東京)

溶剤系弾性アクリルウレタン
アロンウオール
FC(DX)Aカラー



水系弾性アクリルシリコン
アロン水性
スーパーカラーSi



弱溶剤系弾性アクリルウレタン
アロンMD
カラーU



弱溶剤系弾性アクリルシリコン
アロンMD
カラーSi



環境に配慮した工法を提案します



オール水性仕様を提案しています。

東亜合成は、VOC(揮発性有機溶剤)規制など環境配慮に対する取り組みの一環として、オール水性仕様を提案しています。

オール水性仕様は、プライマー、防水材および仕上塗料(トップコート)共に、溶媒に有機溶剤を使用しない水系材料から構成されています。作業中の作業員、居住者だけでなく近隣にも配慮した地球環境に優しい工法です。



国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所
(和歌山県)

◎オール水性仕様工程表(例):ST工法(スター状仕上げ、ゆず肌仕上げ)

工程	材料	外観性状	塗装方法	所要量(kg/m ²)	塗布回数	備考
プライマー	アロン水性プライマー 又はアロン水性マルチ プライマー	水性エポキシ樹脂プライマー	ローラー塗布	※0.1~0.3kg/m ²	1~2回	可使時間、乾燥時間、 成膜時間などについ ては、別途標準仕様 書をご参照下さい。
防水材	アロンコートST	アクリルゴム系外壁化粧防水材	吹付け	1.7kg/m ²	1回	
	アロンコートST	アクリルゴム系外壁化粧防水材	模様吹き(吹付け)	0.5kg/m ²	1回	
仕上塗料 (トップコート)	アロン水性 スーパーカラーSi	低汚染・水性アクリルシリコン 樹脂エマルジョン塗料	吹付け又は ローラー塗布	0.15kg/m ²	1回	
	アロン水性 スーパーカラーSi	低汚染・水性アクリルシリコン 樹脂エマルジョン塗料	吹付け又は ローラー塗布	0.15kg/m ²	1回	

※プライマーの使用量、乾燥時間などは、下地の種類および状態・施工環境などによって異なります。

長寿命化でリデュース(廃棄物の減量)に 貢献します。

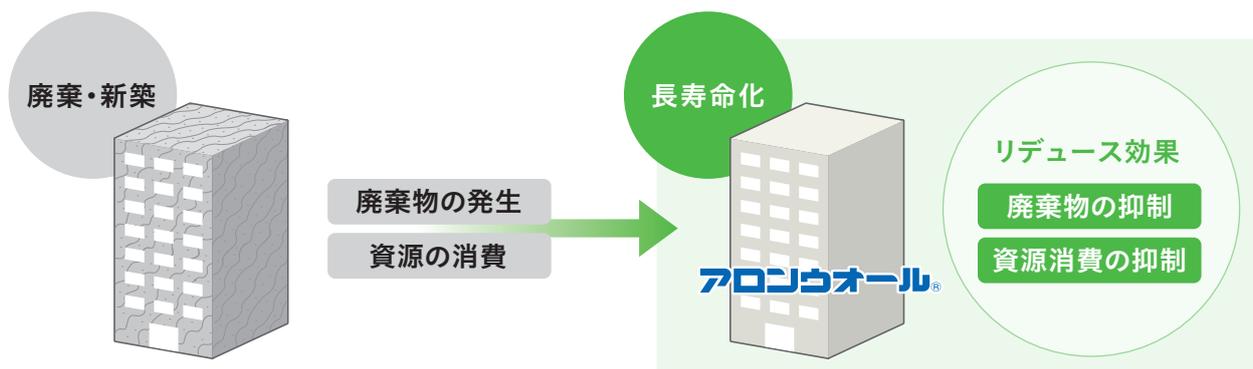
資源の消費を抑え、廃棄物の発生を抑制することは、地球環境を守り、限りある資源を未来につなげる私たちの使命です。

建物を長期にわたり保護するアロンウオール®は、
リデュース※効果が期待される製品として、環境保護に貢献します。



株式会社ニチレイ・ロジスティクス四国(徳島県)

※リデュース…環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために無駄・非効率な消費・生産を抑制あるいは行わないこと。



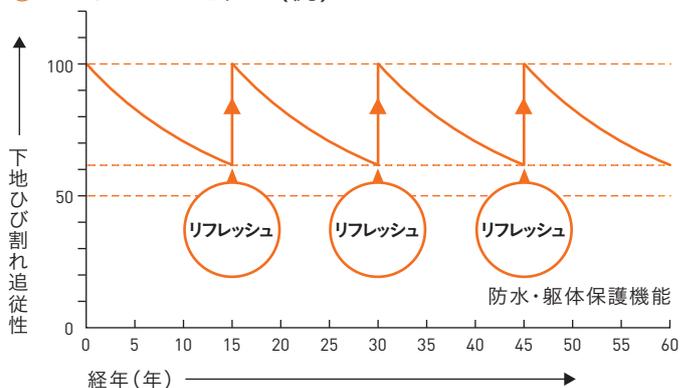
ハイパフォーマンスでトータルコスト



アロンリフレッシュ工法

アロンウォール®で施工すると次回改修時に安価な塗替え工法(アロンリフレッシュ工法)をご提案できます。アロンリフレッシュ工法とは、超高機能保護被覆材「アロンウォール」を施工後、10～15年を経て塗り替える場合の専用工法で、化粧機能・防水機能・躯体保護機能を復元させ、建物のライフサイクルコスト低減を図ります。

◎メンテナンスモデル(例)



◎アロンリフレッシュ工法の工程

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)			塗布回数
			吹付け	ローラー①	ローラー②	
下地の確認及び清掃				別途		
高圧水洗・乾燥				別途		
プライマー	アロン水性プライマー 又は アロン水性マルチプライマー	塗布	0.1	—	0.1	1回
プライマー兼防水材	アロンコートSX	塗布	—	0.5	—	1回
防水材	アロンコートST	塗布	—	0.7	0.7	1回
	アロンコートST	塗布	—	—	0.7	1回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.2	—	—	1回
	アロンコートST	吹付け	0.2	—	—	1回
仕上材	各種仕上塗料 ^{※1}	塗布	0.2～0.3	0.2～0.3	0.2～0.3	1～2回

※1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.16)をご参照下さい。

トを低減します。



アロンウオール。

ひび割れ処理費を低減します。

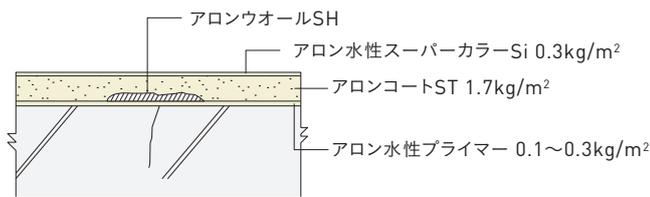
アロンウオール施工時において、ひび割れ処理に下地挙動緩衝材「アロンウオールSH」を塗布すると、従来工法[※]では必要とされていた熟練技術や工事日数を削減でき、下地処理費用の低減が可能になります。



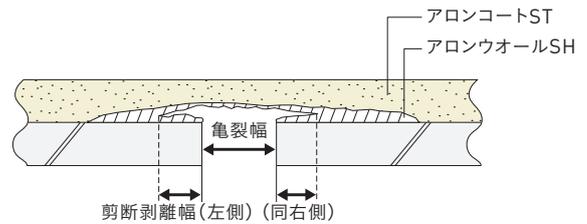
※ Uカット+シーリング材充填+ポリマーセメントモルタル充填

アロンウオールSH 詳細説明

◎アロンウオールSH塗布時 断面イメージ



◎アロンウオール[®]SH塗布後(ひび割れ発生時) 断面イメージ



◎アロンウオールSH塗布によるアロンウオールのひび割れ追従性向上効果

下地変位	アロンウオール [®] (標準) [アロンウオール [®] SH塗布なし]	アロンウオール [®] アロンウオール [®] SH塗布 (0.6~0.8kg/m ² 30~50mm幅塗布)	備考
単純ゼロスパン テンション 	5mm	28mm	アロンコートST塗膜の破断時(ピンホール)の亀裂幅(ひび割れ追従幅)を示した。
上下変動 	12mm	36mm	
前後変動 	15mm	29mm	

※本データは、測定値であり、保証値ではありません。

[外壁改修] 下地処理費を低減できます。

アロンウオールで外壁を改修する際、目地部やサッシ周りのシーリング材なども外壁と共に一体で被覆するため、既設シーリング材の劣化程度によっては、シーリング材の処理費用が低減できる場合があります。更にシーリング材の上から、アロンウオールを被覆することにより、シーリング材を保護する効果も期待できます。



タカラスタンダード滋賀工場(滋賀県)

[改修専用] アロンウオールNEO工法です。

表層劣化した樹脂系の仕上塗材に直接付着する超高弾性アクリルゴム系下塗防水材「アロンコートSX」の開発により、下塗(プライマー)工程と中塗(防水材)工程を省力化し、工期短縮に貢献します。アロンウオールNEO工法は、「アロンコートSX」を採用した改修専用のローラー塗布工法です。

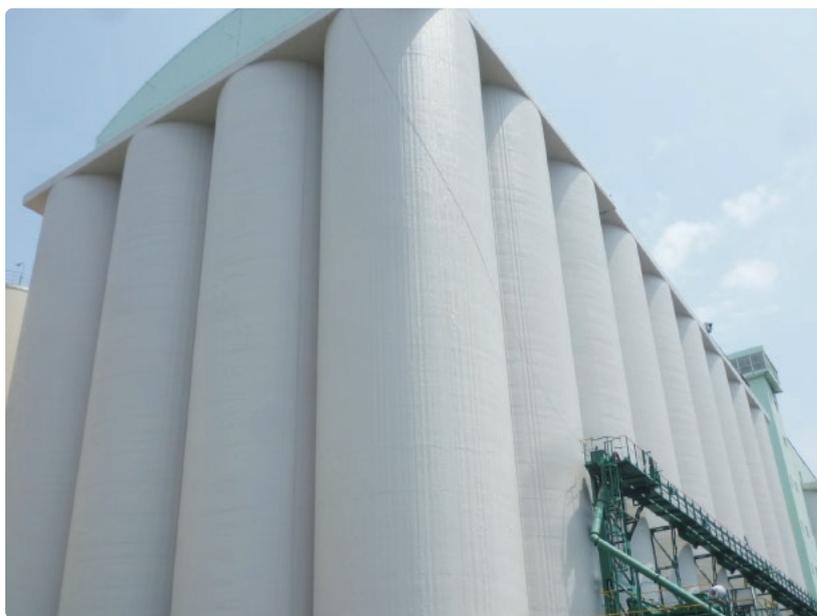
施工事例

アロンウオール®は、昭和45年6月以来40余年にわたり、全国に数多くの実績を誇っています。



▲ 錦江町文化センター
(鹿児島県)

▼ 新潟工科専門学校(新潟県)



▲ 東灘トーメンサイロ(株)
(兵庫県)



アロンウオール

和光小学校 ▶
(北海道)



▼ 平・上平統合小学校(富山県)



施工事例



▲ JAXA宇宙科学技術館
(鹿児島県)

▼ 新潟工業短期大学(新潟県)



▼ パークサイド平塚(神奈川県)





アロンウォール



▲ マリンパレス明石(兵庫県)



岩崎倉庫(株)米トランクルーム ▶
(東京都)

東亜合成は、外壁化粧防水材に対する時代の要因をいち早くとらえ、業界に先がけてアクリルゴム系外壁化粧防水「アロンウオール」を開発し、「アクリルゴム系」の概念を打ち立てました。

当社の提唱する「アクリルゴム(アロンコートST)」とは、

① 主材中の固形成分は70%以上

垂直面に1000μm近い塗膜厚を形成させるためには、高い固形分濃度が必要です。

② 塗膜中の樹脂量は55%以上

塗膜中の樹脂量が少ないと、伸び性能が低下し、下地ひび割れに対する追従性が低下するばかりか、気密性に劣り、中性化や塩害などの早期劣化を防止できなくなります。

③ アクリルゴム中の2-エチルヘキシルアクリレート(HA)の量は90%以上

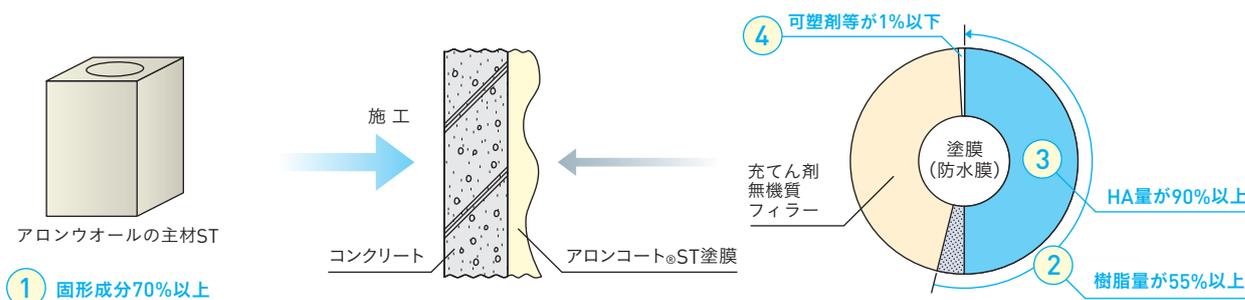
防水材に使用するアクリルゴムは、低温から高温まで高い柔軟性が要求されます。この様なアクリルゴムを作るには、2-エチルヘキシルアクリレート(HA)というアクリルのモノマーを90%以上使用(低温の-60℃でも柔軟性を保持)する必要があります。

④ 塗膜中の可塑剤等の抽出成分量は1%以下

可塑剤は塗膜を柔らかくする添加剤で、これを添加すると硬い塗膜でさえ柔らかくすることができます。しかし、可塑剤の添加により柔軟性を持った塗膜は可塑剤が徐々に逸散してしまうために、短時間で初期のひび割れ追従性は失われます。

アクリルゴム(アロンコートST)とは	4つの品質規格	防水機能 (ひび割れ追従性)	躯体保護機能 (劣化要因じゃ断機能)	耐久性
	① 主材中の固形成分は70%以上	◎	○	○
	② 塗膜中の樹脂量は55%以上	◎ 耐疲労性	◎	◎
	③ アクリルゴム中の2-エチルヘキシルアクリレートの量は90%以上	◎ 低温下の伸び	◎ じゃ塩性	○
	④ 塗膜中の可塑剤等の抽出成分量は1%以下	○	○	◎

(%は全て重量%)



上記の条件を全て満たして、はじめて長期にわたって優れた下地ひび割れ追従性や、気密性を維持する外壁化粧防水材となります。これがアクリルゴム系外壁化粧防水「アロンウオール」なのです。

◎各種工法

○：対応 ×：非対応 △：準対応 -：設定なし

名称		工法											
		ST工法		STM工法		NEO工法		MS工法	漆喰工法	ER工法		アロンウオール ピン・ネット 剥落防止工法	アロンACC ピン・ネット 剥落防止工法
仕上り		スター状 仕上げ	ゆず肌 仕上げ	リップル状 仕上げ	リビエール 仕上げ	リップル状 仕上げ	リビエール 仕上げ			リシン 仕上げ	ジュラク調 仕上げ		
工法特性	オール水性	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
	低汚染仕様	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○
	艶消し仕上げ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	○	○
	剥落防止性	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
用途	新築	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	改修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
規格適合性	JIS A 6021 (建築用塗膜防水材)・外壁用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS8	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-
	国交省 建築工事監理指針	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-
	国交省 建築改修工事監理指針	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-

◎特性および各種工法との適合性一覧表

●：該当および標準仕様 ○：該当

仕上塗料(トップコート)		標準使用量 (工数)	製品特性				特殊対応 ^{※4}		適用工法					
名称	外観性状		水系	低汚染系	弱溶剤系	溶剤系	防霉 対応	艶消し 対応 ^{※1}	ST 工法	STM 工法	NEO 工法	MS 工法	漆喰 工法	ER 工法
アロン水性 スーパーカラー-Si	低汚染・水性アクリルシリコン樹脂 エマルジョン塗料	0.15kg/m ² ×(2回)	○	○ ^{※7}			○	○ ^{※2}	●	●	●		●	
アロン水性 (DX) スーパーカラー	水性アクリルウレタン樹脂 エマルジョン塗料	0.15kg/m ² ×(2回)	○					○	○	○				
アロン水性カラー	水性アクリル樹脂 エマルジョン塗料	0.15kg/m ² ×(2回)	○				○	○	○	○				
アロンHSカラー Si-1000 ^{※8※9}	低汚染・水性アクリルシリコン 樹脂エマルジョン塗料	0.2~0.25kg/m ² ×(1回)	○	○ ^{※7}			○	○ ^{※2}			●			
アロンHSカラー Si-3000 ^{※8※9}	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤 アクリルシリコン樹脂塗料	0.2~0.25kg/m ² ×(1回)		○ ^{※7}	○			○	○	●				
アロンMD カラーU	低汚染・2液反応硬化形 弱溶剤系アクリルウレタン樹脂塗料	0.15kg/m ² ×(2回)		○ ^{※7}	○		○ ^{※5}	○	○	○				
アロンMD カラーSi	低汚染・2液反応硬化形 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料	0.15kg/m ² ×(2回)		○ ^{※7}	○			○	○	○				
アロンウオール フッ素FC(DX)カラー	低汚染・2液反応硬化形 溶剤系フッ素樹脂塗料	0.15kg/m ² ×(2回)		○ ^{※7}		○		○	○	○				
アロンウオール FC(DX) Aカラー	2液反応硬化形溶剤系 アクリルウレタン樹脂塗料	0.15kg/m ² ×(2回)				○	○ ^{※5}	○	○	○				
アロンウオール FC(DX) スーパー カラー	2液反応硬化形溶剤系 アクリルウレタン樹脂塗料	0.15kg/m ² ×(2回)				○	○ ^{※5}	※3	○	○	○		○	
アロンウオール シリコンFC(DX) カラー	2液反応硬化形溶剤系 アクリルシリコン樹脂塗料	0.15kg/m ² ×(2回)				○	○ ^{※5}		○	○	○			
アロンMS クリアーU	2液反応硬化形溶剤系 アクリルウレタン樹脂クリアー塗料	-				○						●		
アロンMS クリアーSi	2液反応硬化形溶剤系 アクリルシリコン樹脂クリアー塗料	-				○						○		
アロンコートER リシンベース	水性アクリル樹脂 エマルジョン塗料	-	○											● ^{※6}

※1: 艶消し程度は、半艶消しに対応いたします。艶消しの程度をご選択する場合、別途お問い合わせ下さい。

※2: 半艶消しと艶消し(底艶あり)が可能です。

※3: アロンウオールFC(DX) スーパーカラーは、漆喰工法ご採用時のみ、全艶消しに対応いたします。

※4: アロン水性スーパーカラー-Siを除く各仕上塗料は、特殊対応において、防霉と艶消しを同時に行うことはできません。

※5: 該当材料の防霉入りをご希望の場合、「防霉入り」とご指定下さい。

※6: アロンコートERリシンベースは、標準色B-15~B-18、特注濃彩色の調色はできません。

※7: 以下の場合には低汚染性が発揮されない場合がありますのでご注意ください。

●傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位などや雨掛かりが少ない部位

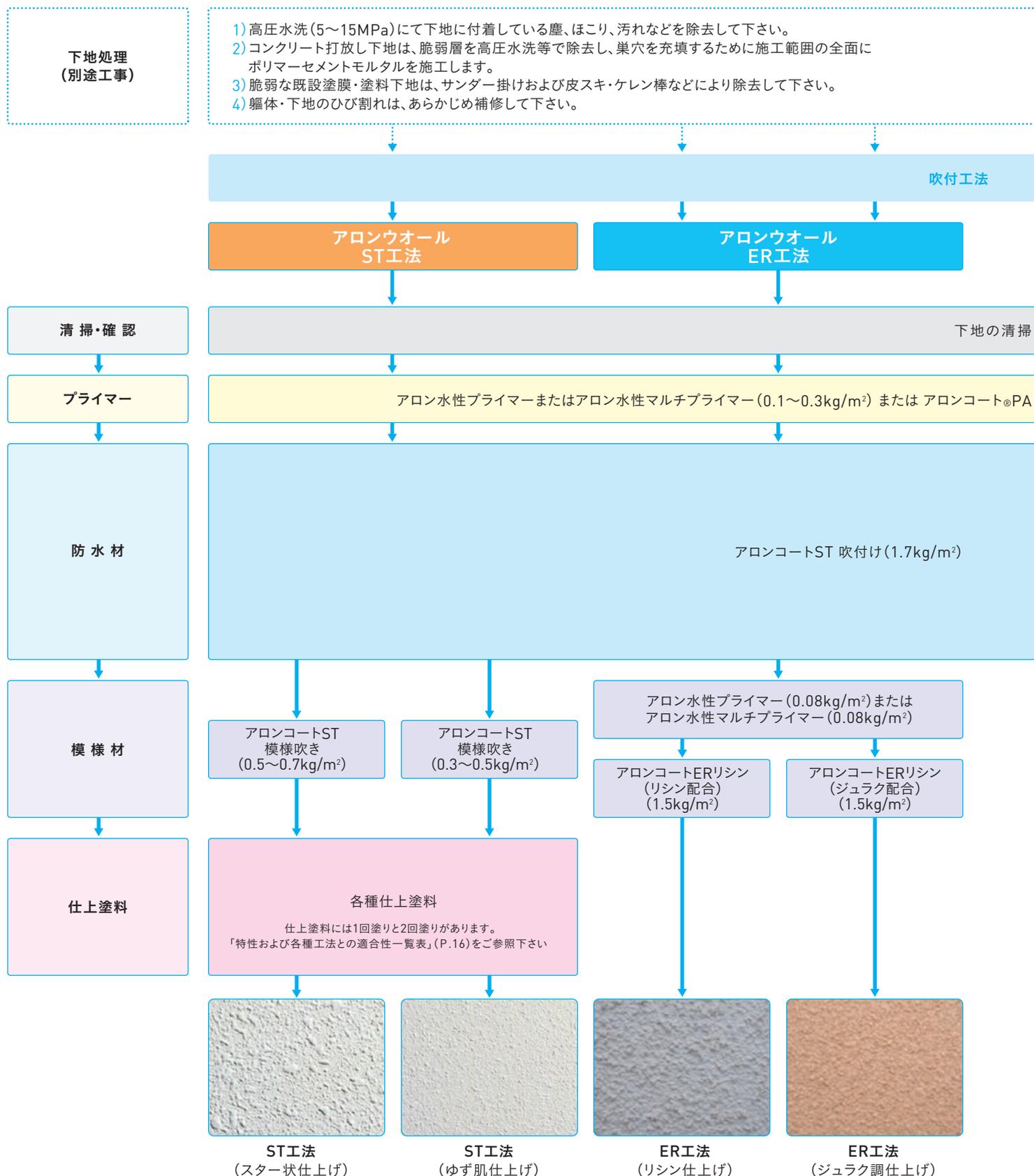
●施工後、塗膜が十分に乾燥するまでの時間内に結露・降雨にあった場合

※8: アロンHSカラー-Si-1000、アロンHSカラー-Si-3000は1回塗りの仕上塗料ですが、1回塗りとは、所定量の仕上塗料を縦横に均一に塗布することです。

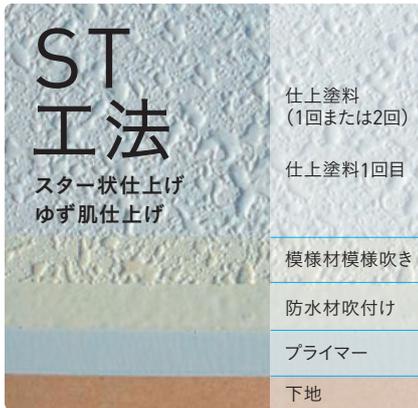
※9: アロンHSカラー-Si-1000、アロンHSカラー-Si-3000は日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS8、国交省 建築工事監理指針、国交省 建築改修工事監理指針には対応しておりません。

※各仕上塗料(トップコート)は、調色できない色などがありますので、別途お問合せ下さい。

アロンウオール®標準工程フロー



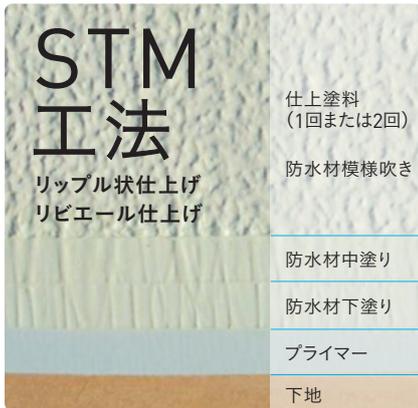
標準仕様一覧表



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又はアロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7	1~2回*2
模様材	アロンコートST	模様吹き (吹付け)	0.5	1回
仕上塗料 (トップコート)	各種仕上塗料*1 (1回塗りと2回塗りがあります。)	吹付けまたはローラー塗布	*1	*1

工程見本:ST工法(スター状仕上げ)

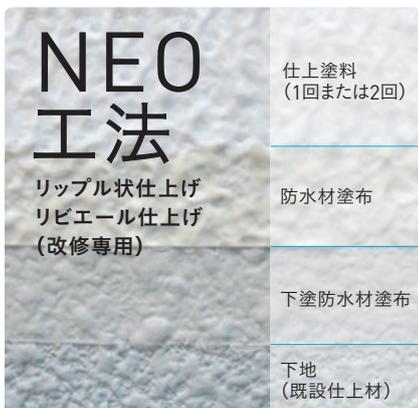
【ST工法での注意事項】*1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.16)をご参照下さい。*2:新築の場合、2回に分けて吹付けると平滑に仕上がります。◎プライマーの可使用時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎アロンコートSTの模様吹き(吹付け)において、模様に応じて使用量が異なります(0.3~0.7kg/m²)。◎アロンコートSTの模様吹き(吹付け)において、乾燥条件が良い場合は吹きつぎができるので、アロンコートST 0.2kg/m²を全体に吹付け吹きつぎを消します。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又はアロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	ローラー塗布	0.5	1回
	アロンコートST	ローラー塗布	0.8	1回
	アロンコートST	模様塗り(ローラー塗布)	0.7	1回
仕上塗料 (トップコート)	各種仕上塗料*1 (1回塗りと2回塗りがあります。)	ローラー塗布	*1	*1

工程見本:STM工法(リップル状仕上げ)

【STM工法での注意事項】*1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.16)をご参照下さい。◎プライマーの可使用時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎アロンコートSTは、アロンウォールSTM工法用添加剤を適量添加(別途標準仕様書をご参照下さい)した後、ローラー刷毛(中毛)「リビエール仕上げ」あるいは多孔質ローラー「リップル状仕上げ」を用いて塗布します。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
下塗防水材	アロンコートSX	ローラー塗布	0.7	1回
防水材	アロンコートST	ローラー塗布	0.8	1回
仕上材	各種仕上塗料*1 (1回塗りと2回塗りがあります。)	ローラー塗布	*1	*1

工程見本:NEO工法(リップル状仕上げ)

【NEO工法での注意事項】*1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.16)をご参照下さい。◎サッシ周りや開口部などの金属下地、モルタル部、コンクリート露出部、断面修復部、シーリング材(種類による)、セメント系材料への施工には、別途プライマーが必要です。◎アロンコートSTは、アロンウォールSTM工法用添加剤を適量添加(別途標準仕様書をご参照下さい)した後、ローラー刷毛(中毛)「リビエール仕上げ」あるいは多孔質ローラー「リップル状仕上げ」を用いて塗布します。◎出隅入隅などの膜厚が薄くなり易い部位、ALCパネルやPC部材の継手目地部(シーリング材打設部)などの防水上重要な部位、ひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位などにはアロンコートSXを、開口部(サッシ)周り、貫通部周り、手摺基部、スイッチボックスなどの設備との取り合いなどにはアロンコートSX、またはアロンコートSTをコテ、刷毛、ローラー刷毛、あるいはゴムべらを用いて0.5~1.0kg/m²程度すり込み塗りまたは増塗りします。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7	1回
プライマー	アロン水性プライマー	模様吹き (吹付け)	0.08	1~2回
仕上材	アロンコートERリシンベース	吹付け	1.5	1回
	寒水砂 (5厘目および3厘目、市販品)			

工程見本:ER工法(リシン調仕上げ)

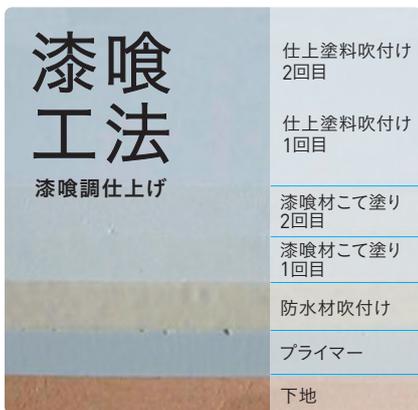
【ER工法(リシン調仕上げ)での注意事項】◎プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎仕上材の配合は、アロンコートERリシンベース20kg、5厘目の寒水砂12.5kg、3厘目の寒水砂12.5kgとなります。水希釈はしないか、極わずか(最大1ℓ)となります。◎骨材の種類によって色調が変化しますので、施工する場合は施工現場で色調の確認をとった上で施工して下さい。◎アロンコートERリシンベースは、標準色B-15~B-18、特注濃彩色の調色はできません。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7	1回
プライマー	アロン水性プライマー	模様吹き (吹付け)	0.08	1~2回
仕上材	アロンコートERリシンベース	吹付け	1.5	1回
	6号けい砂(市販品)			

工程見本:ER工法(ジュラク調仕上げ)

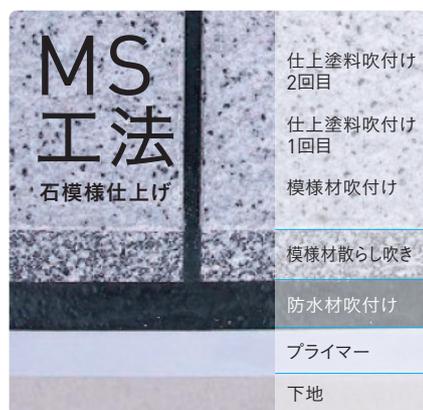
【ER工法(ジュラク調仕上げ)での注意事項】◎プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎仕上材の配合は、アロンコートERリシンベース20kg、6号けい砂40kgとなります。水希釈はしないか、極わずか(最大1ℓ)となります。◎骨材の種類によって色調が変化しますので、施工する場合は施工現場で色調の確認をとった上で施工して下さい。◎アロンコートERリシンベースは、標準色B-15~B-18、特注濃彩色の調色はできません。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7	1回
模様材	アロンウオール漆喰ベース アロンウオール漆喰フィラー	こて塗り	0.8 (ベース0.27、フィラー0.53)	1回
	アロンウオール漆喰ベース アロンウオール漆喰フィラー	こて塗り	0.7 (ベース0.23、フィラー0.47)	1回
仕上塗料 (トップコート)	アロン水性スーパーカラーSi艶消し	吹付け	0.15	1回
	アロン水性スーパーカラーSi艶消し	吹付け	0.15	1回

工程見本:漆喰工法(漆喰調仕上げ)

【漆喰工法での注意事項】◎アロン水性プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎仕上塗料は、白または黒となります。



工程見本: MS工法 (石模様仕上げ)

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理		別途		
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7	1回
目地割付け、 墨出し、 目地棒張付け	目地棒 [幅7mmまたは25mm] (目地長さは現場による: 本/m ²)			
模様材	アロンウオールMS	散らし吹き	0.5~1.0	1回
	アロンウオールMS	吹付け	4.0~4.5	1回
離型紙撤去、 ローラー押え、 目地棒撤去、 目地部清掃				
仕上塗料 (トップコート)	アロンMSクリアーU	吹付け	0.1	1回
	アロンMSクリアーU	吹付け	0.1	1回

【MS工法での注意事項】◎プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎プライマーの使用量、乾燥時間などは、下地の種類および状態・施工環境によって異なります。

◎各種工法での注意事項

- 各種工法で、各使用材料の可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。
- 各使用材料を実際に調合および施工する場合、使用者の責任において、別途テクニカルインフォメーションなどに従って下さい。
- 各種工法の使用材料と使用量 (kg/m²) には、希釈水や各仕上塗料専用希釈液の量は含みません。
- 降雨、降雪が予想される時、気温5℃以下の場合、施工を中止して下さい。
- 高圧水洗にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去して下さい。
- 旧塗膜に脆弱部のある場合、サンダーおよび皮スキ・ケレン棒などを用いて除去して下さい。
- プライマーの使用量、乾燥時間などは、下地の種類および状態・施工環境によって異なります。
- 改修において、下地の種類や状態によって、アロン強化プライマーを使用する場合があります。
- 各種仕上塗料 (MS工法・漆喰工法を除く) においては、必ず見本板などでご指定色をご確認下さい。
- 仕上塗料 (トップコート) がアロンHSカラーの場合、標準使用量は0.2~0.25kg/m²となります。
- 下地処理費用は、材工標準設計価格に含まれておりません。



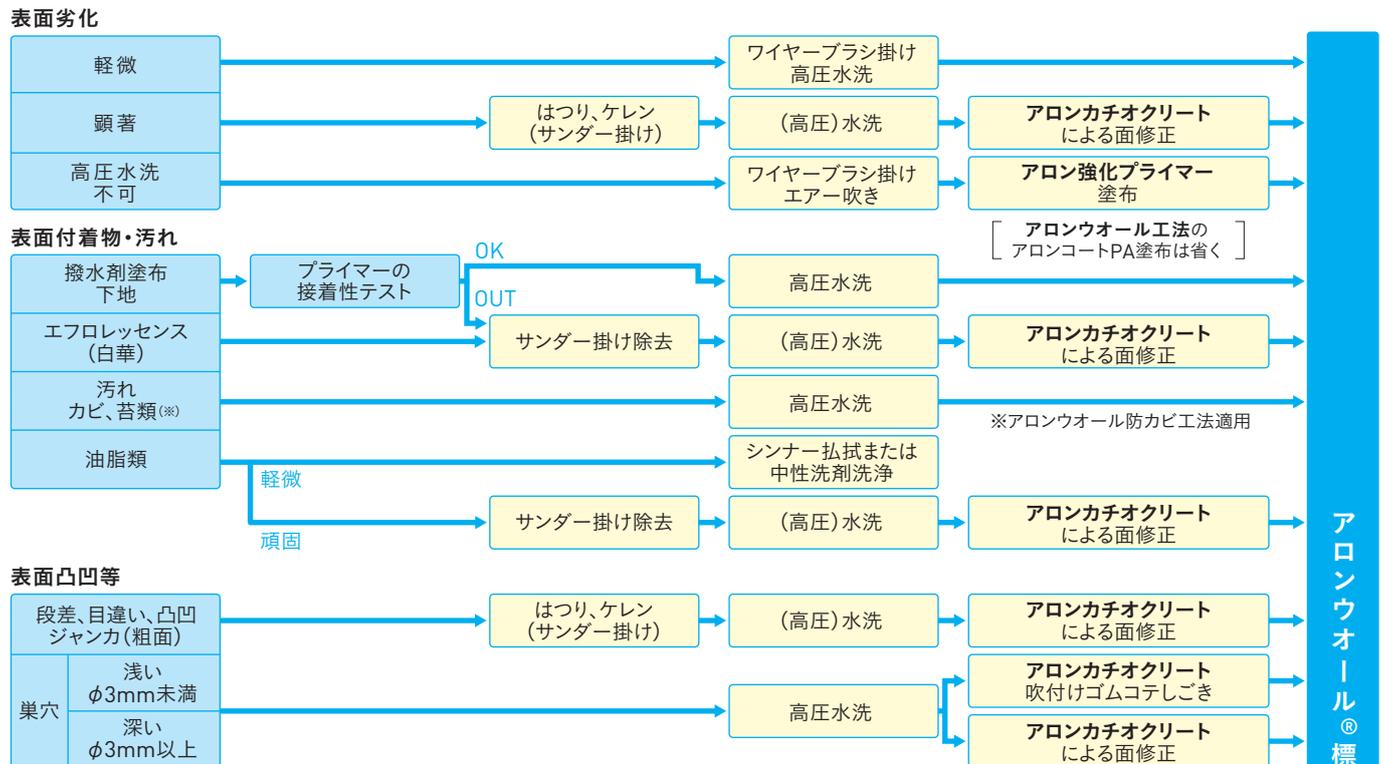
東亜合成株式会社 (東京都)
アロンウオールMS工法 (石模様仕上げ)

アロンACC工法標準工程

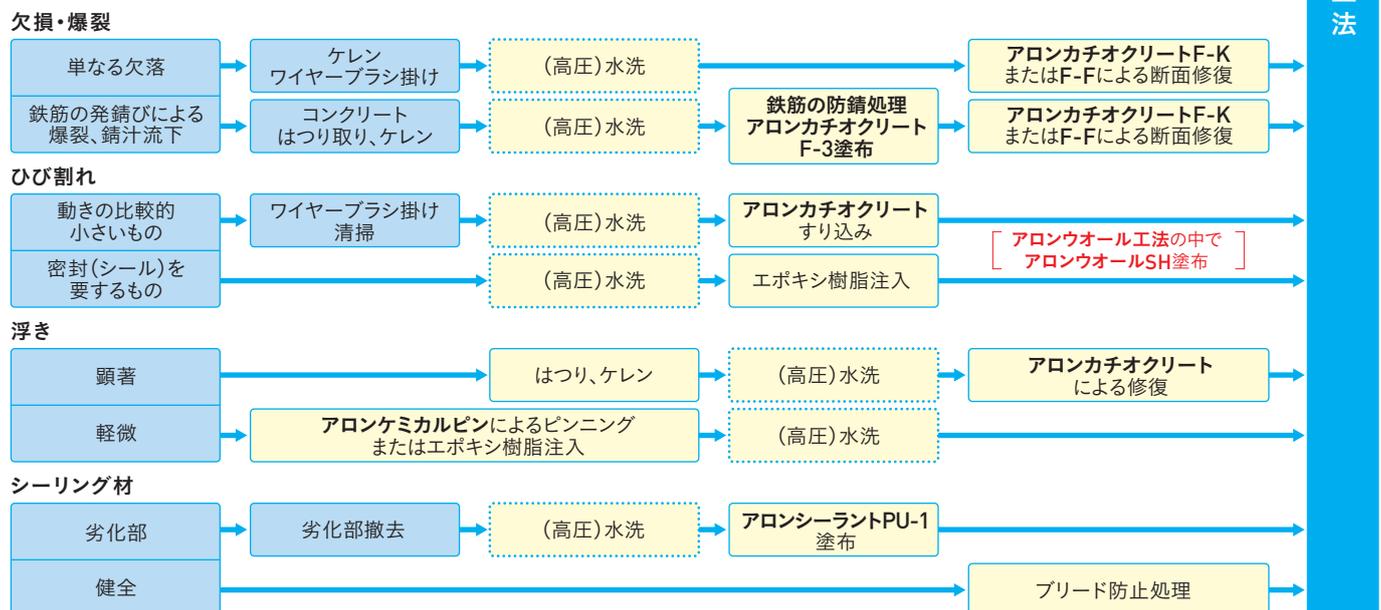
◎コンクリート・モルタル下地



◎全面処理



◎部分的処理



アロンACC工法の主な作業例

◎ひび割れ処理作業(アロンウオールSH)



ひび割れが生じている箇所の補修には、従来行われてきたU字カット法に代わって、ひび割れの挙動に緩衝する下地挙動緩衝材「アロンウオールSH」を塗布する新しい工法で行います。

◎鉄筋の防錆処理作業(アロンカチオクリートF-3)



錆びた鉄筋のまわりや塩化物イオンを含むコンクリートを表面、裏側ともていねいにはつり、錆落しを入念に行います。清掃後、防錆処理および埋戻し材料との接着性向上を目的として、鉄筋に直接「アロンカチオクリートF-3」を塗布します。

◎不陸調整作業(アロンカチオクリート)



不陸調整を目的として「アロンカチオクリート」で処理します。

◎埋め戻し作業(アロンカチオクリート厚付)

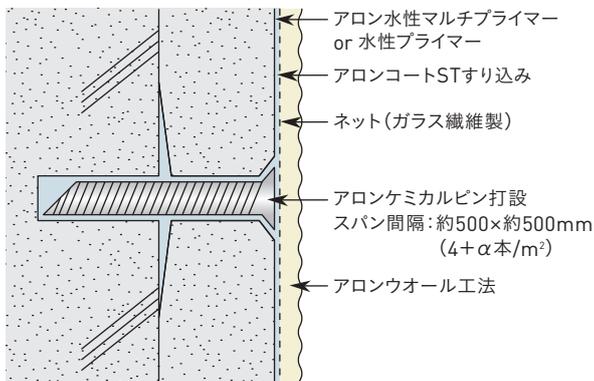


欠損やはつり部分に「アロンカチオクリートF-K(施工厚み30~50mm)」または「アロンカチオクリートF-F(施工厚み5~30mm)」を、コテなどを用いて塗り込みます。

剥落防止工法

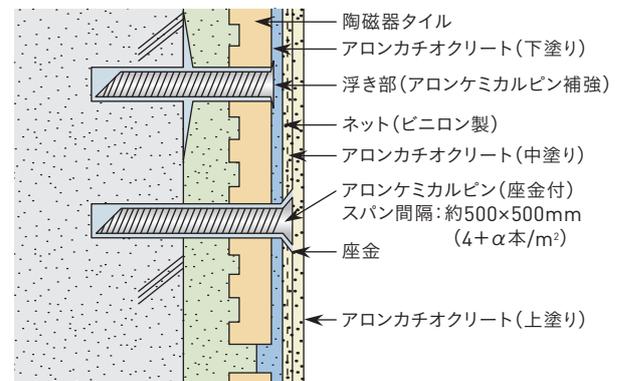
◎アロンウオール・ピン・ネット剥落防止工法

アロンケミカルピン打設、アクリルゴム塗膜防水材料によるガラス繊維製ネット張りによる工法です。剥落防止と同時に、外壁の化粧や防水、更には、各種の躯体保護にも有効です。

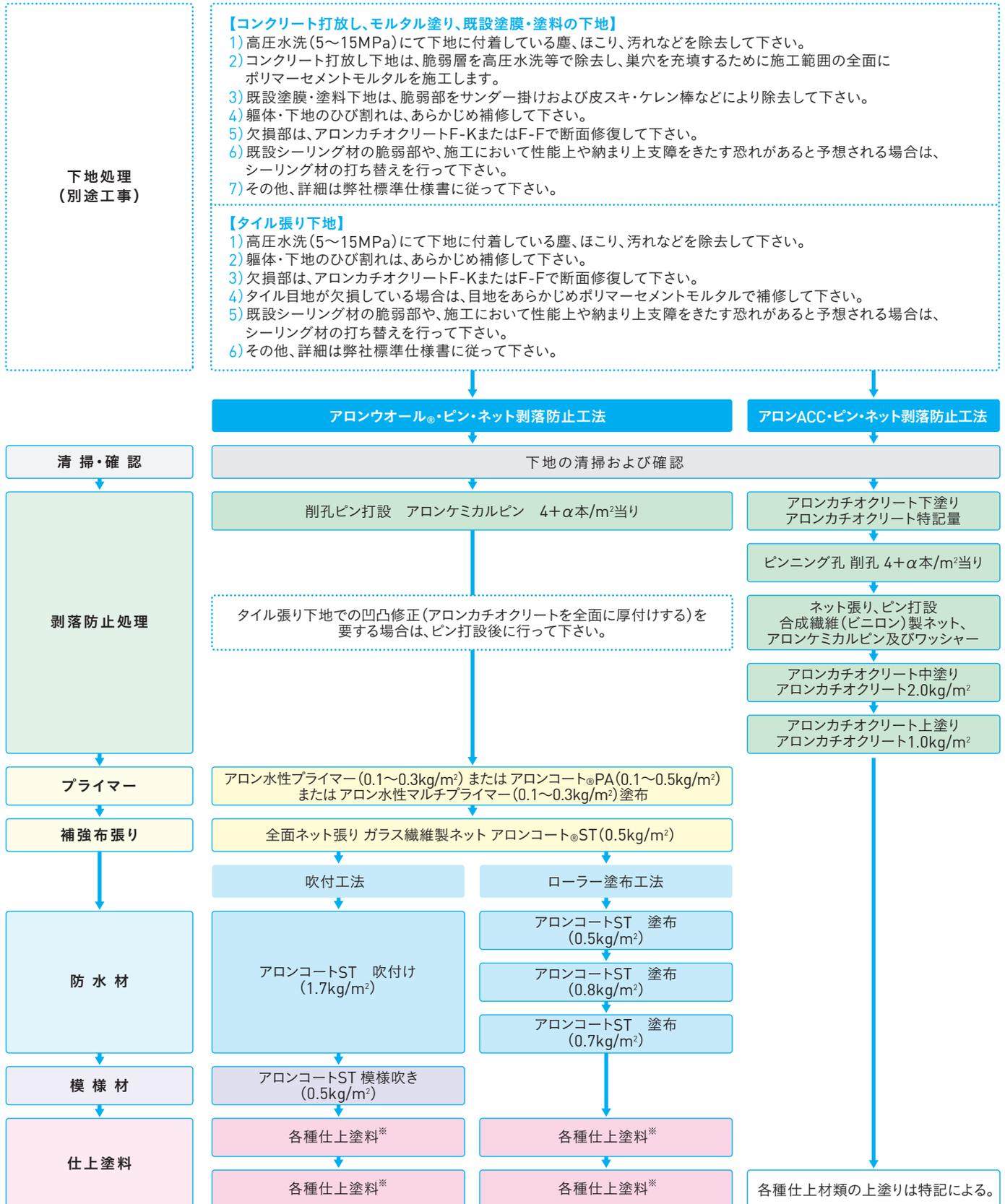


◎アロンACCピン・ネット剥落防止工法

アロンカチクリートによる耐アルカリ性合成繊維(ビニロン)製ネット張りによる工法です。既存陶磁器質タイルや仕上げモルタル類の剥落防止に有効です。



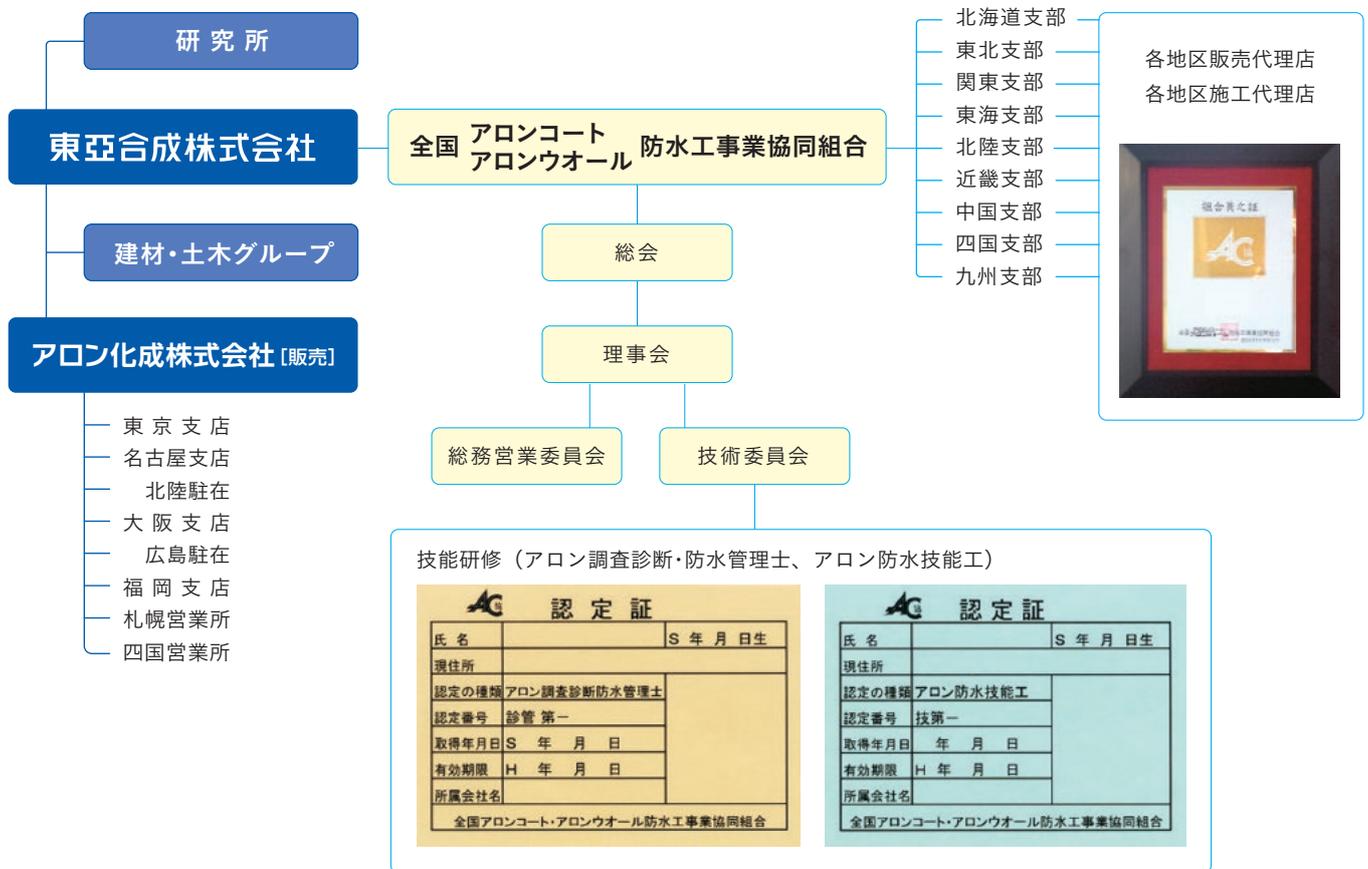
RC構造物やPC部材の建物の外壁における既設の陶磁器質タイルや仕上げモルタル類の剥落防止や庇の補修、更には、外階段、張出部の上げ裏、一般壁、柱梁、天井などのモルタル類の剥落防止に適用されます。(ただし、躯体の破壊が懸念される場合やアロンケミカルピンの固定が困難な場合は適用できません。)



※「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.16)をご参照下さい。

責任施工システム

アロンコート・アロンウオールの受注・施工は、全国9支部207施工代理店（平成29年10月末）により組織された「全国アロンコート・アロンウオール防水工事業協同組合員」がその任に当たります。アロンウオールの素材を十二分に研修理解し、施工技術をマスターした技術者のみがライセンスを取得し、すべての施工はこの技術者を擁する施工代理店が行う「責任施工システム」となっています。



品質管理

一貫生産が安定した品質をお約束いたします。原料のアクリル酸エステルから最終製品に至るまで、当社で責任をもって製造しています。

防水保証書を発行しています。

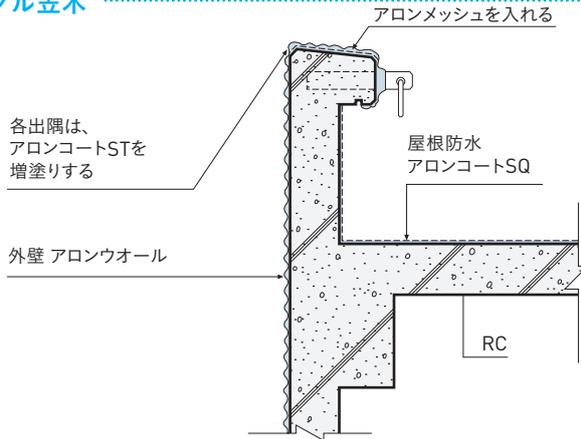
メーカーおよび施工代理店連名で、新築・改修に関わらず、防水保証を実施しています。



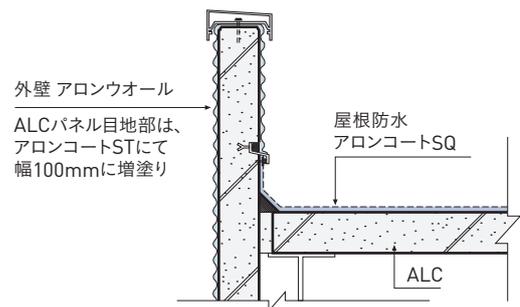
アロンウオール施工標準例

◎パラペット周り設計例

モルタル笠木

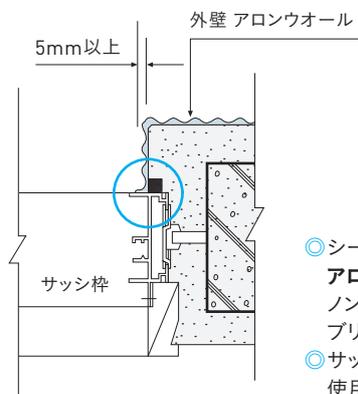
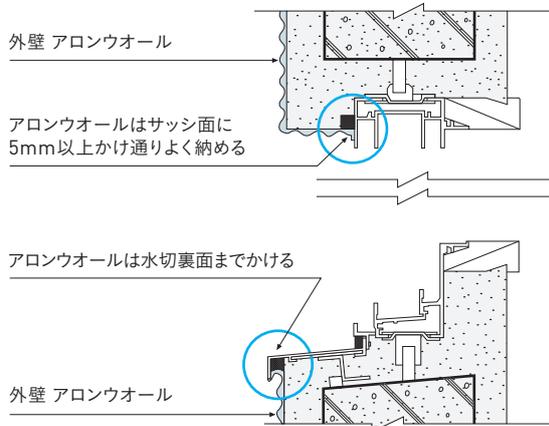


金属笠木



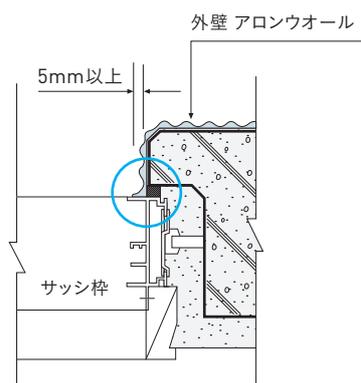
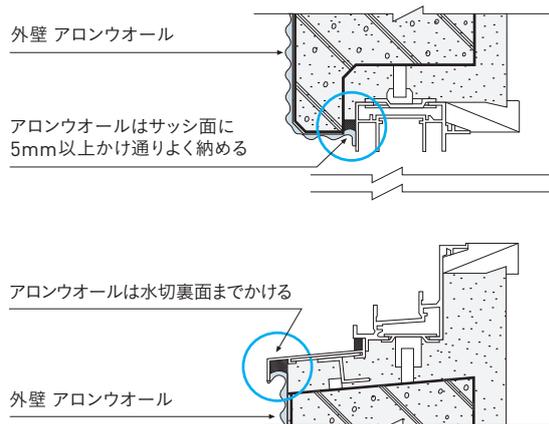
◎サッシ周り設計例

鉄筋コンクリート納まり



- ◎シーリング材は、ノンブリードタイプのアロンシーラントPU-1を使用する。ノンブリード型でない場合は、ブリード防止処理を行う。
- ◎サッシ面には、アロン強化プライマーを使用する。

鉄筋コンクリート納まり(外部コンクリート打放し)



テクニカルデータ

◎アロンウオール®の防水主材単独塗膜の物性 [JIS A 6021-2011 (建築用塗膜防水材 外壁用)]

項目		規格値	アロンコートST測定値	
引張性能	引張強さ (N/mm ²)	試験時温度 23°C	1.3以上	1.8
		試験時温度 -20°C	1.3以上	5.7
		試験時温度 60°C	0.4以上	1.3
	破断時の伸び率 (%)	試験時温度 23°C	300以上	400
	破断時のつかみ間の伸び率 (%)	試験時温度 23°C	180以上	240
		試験時温度 -20°C	70以上	110
試験時温度 60°C		150以上	190	
引裂性能	引裂強さ (N/mm)	6.0以上	11.7	
加熱伸縮性能	伸縮率 (%)	-1.0以上1.0以下	-0.4	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	80以上	118
		促進暴露処理	80以上	95
		アルカリ処理	60以上	118
	破断時の伸び率 (%)	加熱処理	200以上	334
		促進暴露処理	200以上	270
		アルカリ処理	200以上	290
伸び時の劣化状況	加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があつてはならない	異常なし	
	促進暴露処理		異常なし	
	オゾン処理		異常なし	
付着性能	付着強さ (N/mm ²)	無処理	0.7以上	1.12
		温冷繰返し処理後	0.5以上	0.76
耐疲労性能		いずれの試験体にも塗膜の穴あき・裂け・破断があつてはならない	異常なし	
たれ抵抗性能	たれの長さ (mm)	いずれの試験体も3.0以下	0	
	しわの発生	いずれの試験体にもあつてはならない	認めない	
固形分 (%)		表示値±3.0	72.0	

-40°Cの雰囲気でも柔軟性を維持していることが証明されています。

	処理方法	温度	結果	測定方法
耐寒屈曲性	無処理	-20°C -40°C	アロンコートST塗膜の柔軟性異常なし	72時間放置後 80°折り曲げ

◎アロンウオール主材 (アロンコートST) の性状

外観	粘稠なスラリー状
固形分	72% (樹脂分57%)
粘度	約40,000mPa·s (at.20°C)
貯蔵安定性	1ヵ年間

◎アロンウオール主材 (アロンコートST) 塗膜のひび割れ追従性 (実験値)

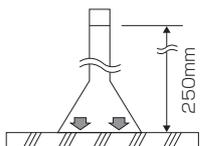
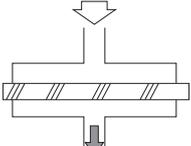
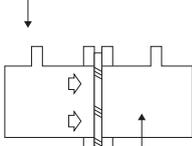
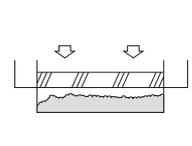
アロンコートST 塗膜のひび割れ追従性	0≧3mm (ひび割れ幅) くり返し5,000回以上OK (6回/1分間)	塗膜厚1mm 促進耐候性試験 1,000時間後
------------------------	---	-------------------------------

◎アロンウオール®塗膜の物性 [JIS A 6909-2014「建築用仕上塗材」防水形複層塗材準拠]

項目		規格値	測定値
低温安定性		塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと。	異常なし
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		ひび割れが生じないこと。	異常なし
付着強さ (N/mm ²)	標準状態	0.7以上	1.1
	浸水後	0.5以上	0.9
温冷繰り返し作用に対する抵抗性		試験体の表面に、はがれ、ひび割れ、膨れがなく、かつ、著しい変色および光沢低下がないこと。	異常なし
透水性 (mℓ)		0.5以下	0.1以下
耐 衝 撃 性		ひび割れ、著しい変形およびはがれを生じないこと。	異常なし
耐 候 性		ひび割れ、はがれがなく、変色がグレースケール3号以上であること。	異常なし 変色：グレースケール5号
伸び (%)	20℃時	120以上	390
	-10℃時	20以上	150
	浸水後	100以上	300
	加熱後	100以上	334
伸び時の劣化		剥離、反り・ねじれがなく、主材に破断およびひび割れがないこと。	異常なし

◎外的要因に対する遮断機能 (拡散抵抗性)

▶水、空気、塩分、水蒸気に対する気密性 (コンクリートとの比較)

		透水性	気密性	遮塩性 (拡散係数)	透過性 (水蒸気透過性)
試験法					
単位		ml	cm ³ /m ² ・hr・Pa	cm ² /sec	g/m ² ・日
アロンウオール®	a	0.0	3.7×10 ⁻²	1.4×10 ⁻¹¹	12.5
	b	0.0~0.1	5.7×10 ⁻²	5.3×10 ⁻¹¹	—
コンクリート		72	190	6.0×10 ⁻⁸	50.4 (モルタル10mm厚)
コンクリート相当厚み		720mm	3,300~5,000mm	1,100~4,300mm	40mm
備考		—	—	—	※透湿抵抗は小さく、透湿性は良好。

アロンウオール®塗膜 a: 初期状態 b: 100%伸張状態 (注) 相当厚み=アロンウオール塗膜1mmに対するコンクリート厚み

アロンウオール®工法使用材料

⑤ 溶剤含有材料 ⑥ 弱溶剤含有材料

分類	材料名称	使用目的	外観性状	固形分	粘度	荷姿
プライマー	アロン水性プライマー	防水層と下地の接着性向上	2液反応硬化形エポキシ樹脂エマルジョン	主 剤：約63% 硬化剤：約47%	主 剤：約6,100mPa・s 硬化剤：約2,900mPa・s	主剤+硬化剤 6Kg/缶+6Kg/缶=12Kg/セット
	アロン水性マルチプライマー	防水層と下地の接着性向上	特殊変性エポキシ樹脂エマルジョン	約57%	約5,000mPa・s	16Kg/缶
	⑤ アロンコートPA	防水層と下地の接着およびふくれ防止	合成樹脂溶剤溶液 消、危第4類第2石油類	約20%	約15mPa・s	17Kg/缶
	⑤ アロン強化プライマー	脆弱下地に塗布、含浸させ下地強化と各種上塗り材との接着性向上	特殊変性、2液反応硬化形エポキシ樹脂溶剤溶液 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約48% 硬化剤：約9%	主 剤：約45mPa・s 硬化剤：約3mPa・s	主剤+硬化剤 8.2Kg/缶+6.8Kg/缶= 15Kg/セット
	⑥ アロンMD防錆プライマー	鋼板の防錆および各種上塗り材との接着性向上	主：赤錆色防錆顔料分散樹脂溶剤溶液 消、危第4類第2石油類 硬：黄褐色透明液体 消、危第4類第2石油類	主 剤：約71% 硬化剤：約25%	主 剤：約15,750mPa・s 硬化剤：約13mPa・s	主剤：16Kg/缶 硬化剤：2Kg/缶18Kg/セット
	⑥ アロンMD防錆プライマー用シンナー	アロンMD防錆プライマーの希釈	無色透明液体	—	—	16Kg/缶、4L/缶
防水材	アロンコートST	外壁の防水主材および模様付け	アクリルゴムエマルジョン粘稠なスラリー状材料	約72%	約40,000mPa・s	18Kg/缶
下塗り防水材	アロンコートSX	NEO工法専用防水材	アクリルゴムエマルジョン粘稠なスラリー状材料	約72%	約30,000mPa・s	18Kg/缶
下地調整材	アロンコートSB	下地調整と増し塗り	アクリルゴムエマルジョン 高粘度ペースト状材料	約72%	約85,000mPa・s	18Kg/缶
下地挙動緩衝材	アロンウオールSH	ひび割れ部に塗布しその緩衝作用により上塗り材の下地挙動に対する追従性向上	アクリルゴムエマルジョン粘稠なスラリー状材料	約72%	約45,000mPa・s	18Kg/缶
模様材	アロンウオールMS	石貼り調模様付け	カチオン性アクリル樹脂エマルジョン粗骨材入り、粘稠なスラリー状	約86%	約25,000mPa・s	23Kg/缶
	⑥ アロンウオール漆喰ベース	漆喰調模様付け	アクリル樹脂系漆喰用模様材	約58%	10,000~18,000mPa・s	20Kg/缶
	⑥ アロンウオール漆喰フィラー	漆喰調模様付け	アクリル樹脂系漆喰用模様材	—	—	20kg/袋
仕上塗料 (トップコート) 仕上材	アロン水性スーパーカラーSi	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・水性アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗料	約54%	約5,000mPa・s	15Kg/缶4Kg/缶
	アロン水性(DX)スーパーカラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	アクリルウレタン樹脂塗料	約50%	約5,000mPa・s	16Kg/缶4Kg/缶
	アロン水性カラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	アクリル樹脂塗料	約50%	約5,000mPa・s	16Kg/缶 4Kg/缶
	アロンHSカラーSi-1000	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	アクリルシリコン樹脂塗料	約59%	約5,000mPa・s	15Kg/缶
	⑥ アロンHSカラーSi-3000	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主 剤：約70% 硬化剤：約80%	主 剤：6,500mPa・s 硬化剤：約100mPa・s	主剤+硬化剤 14Kg/缶+2Kg/缶=16Kg/セット
	⑥ アロンHSカラーSi-3000用シンナー	アロンHSカラーSi-3000の希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第2石油類	—	—	13Kg/缶
	⑥ アロンMDカラーU	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主 剤：約60.5% 硬化剤：約50%	主 剤：3,800mPa・s 硬化剤：約10mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+2Kg/缶= 14Kg/セット 3Kg/缶+0.5Kg/缶= 3.5Kg/セット
	⑥ アロンMDカラーU用シンナー	アロンMDカラーUの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第2石油類	—	—	12.8Kg/缶 3.2Kg/缶
	⑥ アロンMDカラーSi	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主 剤：約56% 硬化剤：約54%	主 剤：1,300mPa・s 硬化剤：約30mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+3Kg/缶=15Kg/セット 4Kg/缶+1Kg/缶=5Kg/セット
	⑥ アロンMDカラーSi用シンナー	アロンMDカラーSiの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 W：消、危第4類第1石油類 A：消、危第4類第2石油類	—	—	13Kg/缶 3Kg/缶
	⑤ アロンウオールフッ素FC(DX)カラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	2液反応硬化形弾性フッ素樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約68% 硬化剤：約44%	主 剤：約1,400mPa・s 硬化剤：約8mPa・s	主剤+硬化剤 8Kg/缶+4Kg/缶=12Kg/セット
	⑤ アロンウオールフッ素FC(DX)カラー用シンナー	フッ素FC(DX)カラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	⑤ アロンウオールFC(DX)Aカラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	2液反応硬化形アクリルウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約63% 硬化剤：約29%	主 剤：2,200mPa・s 硬化剤：約20mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+3Kg/缶=15Kg/セット 4Kg/缶+1Kg/缶=5Kg/セット
	⑤ アロンウオールFC(DX)Aカラー用シンナー	FC(DX)Aカラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	⑤ アロンウオールFC(DX)スーパーカラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	2液反応硬化形アクリルウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約60% 硬化剤：約53%	主 剤：2,500mPa・s 硬化剤：約80mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+4Kg/缶=16Kg/セット 3Kg/缶+1Kg/缶=4Kg/セット

分類	材料名称	使用目的	外観性状	固形分	粘度	荷姿
消泡剤	アロンオールFC(DX)スーパーカラー用シンナー	アロンオール®FC(DX)スーパーカラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	アロンオールシリコンFC(DX)カラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	2液反応硬化形弾性 アクリルシリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主剤：約63% 硬化剤：約70%	主剤：2,500mPa・s 硬化剤：約100mPa・s	主剤+硬化剤 10Kg/缶+5Kg/缶=15Kg/セット 4Kg/缶+2Kg/缶=6Kg/セット
	アロンオールシリコンFC(DX)カラー用シンナー	シリコンFC(DX)カラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	アロンMSクリヤーU	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	2液反応硬化形 ウレタン樹脂クリヤー塗料	主剤：約45% 硬化剤：約78%	主剤：700mPa・s 硬化剤：約80mPa・s	主剤：15Kg/缶 硬化剤：3Kg/缶
	アロンMSクリヤーU用シンナー	アロンMSクリヤーUの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶
	アロンMSクリヤーSi	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	2液反応硬化形 シリコン樹脂クリヤー塗料	主剤：約38% 硬化剤：約3%	主剤：65KU(25°C) 硬化剤：10KU(25°C)	主剤：14Kg/缶 硬化剤：2Kg/缶
	アロンMSクリヤーSi用シンナー	アロンMSクリヤーSiの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶
	アロンオールFC(DX)クリヤー	防水層および模様層の汚染防止と表面保護	2液反応硬化形アクリル ウレタン樹脂クリヤー塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主剤：約43% 硬化剤：約43%	主剤：約350mPa・s 硬化剤：約30mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+3Kg/缶=15Kg/セット
	アロンコートERリシン(リシン仕上用)	アロンコート®ERリシンベース 寒水砂(5厘目および3厘目、市販品)	アクリル樹脂エマルジョン粘稠なスラリー状	約60%	約9,500mPa・s	20Kg/缶
	アロンコートERリシン(ジュラック仕上用)	アロンコート®ERリシンベース 6号けい砂(市販品)	アクリル樹脂エマルジョン粘稠なスラリー状	約60%	約9,500mPa・s	20Kg/缶
消泡剤	アロンオールSTM 工法用添加剤	アロンコート®STに添加してSTM工法模様塗りの際の消泡と表面乾燥抑制	消泡剤および乾燥遅延剤の水性混合溶液(静止すると2層分離)	アロンコート®ST18Kg/缶当たり 容器1目盛り(100mℓ)添加		1,000mℓ/PE容器 3本/箱
シーリング材	アロンシーラントPU-1	目地、役物廻りなどの線防水	湿気硬化形ノンブリード、1液性 ポリウレタンシーリング材	約90%	—	320mℓカートリッジ 20本/段ボール箱 12ℓ/ペール缶
下地処理用埋め戻し材	アロンカチオクリートベース	30~50mm深さの欠損やはつり跡に1回の塗りつけで埋め戻す	カチオン性アクリル樹脂エマルジョン	約45%	約15mPa・s	16Kg/缶
	アロンカチオクリートファイラーF-K、F-F		特殊速硬化セメント繊維および特殊軽量骨材入り既調合セメントファイラー	—	—	15Kg/袋
下地処理材	アロンカチオクリートベース	下記既調合粉体(ファイラー)と混ぜ、アロンカチオクリート®として各種下地修正、修復に使用	カチオン性アクリル樹脂エマルジョン	約45%	約15mPa・s	16Kg/缶
	アロンカチオクリートファイラー	上記液体(ベース)と混ぜアロンカチオクリート®として各種下地修正、修復に使用	セメントおよび珪砂その他からなる既調合灰白色吸湿性粉体(F-0、F-1、F-2、F-3※)	—	—	20Kg/クラフト袋
ピンニング材	アロンケミカルピン	モルタルなどの浮き固定剥落防止用の速硬化樹脂アンカーシステム	カプセル 不飽和ポリエステル樹脂系 接着剤ガラス製2重管入り 50L：黄色 長さ50mm 60L：青色 長さ60mm 80L：青色 長さ40mm ² 本使用 100L：黄色 長さ50mm ² 本使用	—	—	50L、60L：250セット (カプセル250本、 ボルト250本)/箱 80L、100L：250セット (カプセル500本、 ボルト250本)/箱
		アロンケミカルピン(カプセル)用のボルト	ボルト ステンレス製十字穴付血頭ボルト 50LΦ5.3×50mm 60LΦ5.3×60mm 80LΦ5.3×80mm 100LΦ5.3×100mm	—	—	
		アロンACC・ピン・ネット剥落防止工法用アロンケミカルピン用ワッシャー	ワッシャー 直径……Φ32 厚み……0.6mm	—	—	250枚
補強材	ガラス繊維製ネット	アロンオール®・ピン・ネット剥落防止工法用補強材	アルテクロス(株)NK-1212 目開き約12目/inch	—	—	幅910mm 長さ120m/巻
	ビニロン繊維製ネット	アロンACC・ピン・ネット剥落防止工法用補強材	ビニロン繊維製ネット 目開き0.67本/cm	—	—	幅1,100mm 長さ100m/巻(VK-0707)
目地材	アロンオールMS工法用目地棒	デザイン目地の現出(両端突き合わせ)	両面(二重)離型紙付き ポリエチレンシート (幅：7mm、25mm、長さ1,000mm)	—	—	200本/箱
目地テープ	粘着テープ	目地補充用	幅8mm布製粘着テープ25m/巻	—	—	(一般市販品)
注入材	コンシ(株)ポンドE-シリーズ	主剤と硬化剤を混ぜ注入材としてクラック、浮きの注入に	2液反応硬化形エポキシ樹脂	—	—	(一般市販品)

※1：アロンカチオクリートF-3は、鉄筋の防錆処理にも使用できます。

※仕上塗料(トップコート)の性状値は、白を基準に記載しています。

※溶剤系仕上塗料(トップコート)とシンナーの希釈比率は、工法によって希釈量が異なりますので、別途テクニカルインフォメーションをご覧ください。



販売部門



アロン化成株式会社

東京支店	〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6	TEL 03(3597)7342[ダイヤルイン]
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6	TEL 052(209)8594[ダイヤルイン]
北陸駐在	〒933-0981 高岡市二上院内500	TEL 0766(44)1565[代表]
大阪支店	〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3	TEL 06(6446)6568[ダイヤルイン]
広島駐在	〒730-0013 広島市中区紙屋町2-1-22	TEL 082(245)7100[代表]
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-30	TEL 092(687)1415[ダイヤルイン]
札幌営業所	〒060-0807 札幌市北区北七条西4-1-2	TEL 011(709)6011[代表]
四国営業所	〒762-0004 坂出市昭和町2-4-1	TEL 0877(46)5201[代表]

www.aronkasei.co.jp



東亜合成株式会社
建材・土木グループ

☎ 0120-557-947 (フリーダイヤル)

www.toagosei.co.jp

